



明治41年
7月7日
落成式

！ 野村小学校の創立

明治23年4月1日につくられました。場所は、今の野村第四にある民家を借りていたということです。当時の児童数は97人で、先生は1人でした。

次の年、明治24年、新しく村役場を建て、その建物と同じ敷地内に野村小学校の建物が初めてつくられました。現在の農協野村支所がその場所です。

明治41年、現在の場所に新しく建てかえられました。完成を祝う落成式を行ったのが7月7日でした。このときから7月7日を創校記念日としています。

★ 祝 新体育

～野村小学校の

本校の体育館が、高岡市内



★ 館完成 特別企画

歴史を振り返って～

最大規模の体育館として
生まれ変わりました！

今までは入学式、卒業式等、式典の際に全校児童が入ることができませんでしたが、新体育館では全校児童が入れるようになります。

また、今後は、学校教育はもとより、地域の文化・スポーツ、福祉、災害時等、広範な利用に供する野村地区の拠点施設としても、大きな役割を期待されています。

今回は、野村小学校の長い歴史について、振り返ってみましょう！

昭和35年
11月23日
初演



後輩に
教えている
6年生

！ 舞踊「いわせのに」

昭和35年、創立70周年を記念して、舞踊「いわせのに」が創られました。天平勝宝3年(西暦751年)8月、大伴家持は任満ちて出立の前夜、久米朝臣広縄に惜別の歌を届けました。その一首に野村の地「石瀬野」を詠んだものがあり、万葉集に収められています。

「石瀬野に秋萩しぬぎ馬並めて初鷹狩だにせずや別れむ」この歌に、曲と振りを付けて誕生したのが、舞踊「いわせのに」です。当時の柳川校長が、音楽家の宮下舜爾先生に作曲をお願いし、その曲に可西舞踊団の神亀俊子先生が振りを付けてくださいました。歌は三部合唱で、島田ミネ子教諭が指導に当たり、衣装は当時の父兄の手作りでした。

踊り手は、5年生の女子6名です。踊り手が5年生なのは、踊った子供たちが翌年6年生になったときに5年生に教え、先輩から後輩へと受け継いでいってほしいという、当時の関係の先生方の願いが込められていたからです。

！ 創校120周年記念行事



平成22年7月7日に、創校120周年記念式典が行われました。式典には、記念コンサートとして桐朋オーケストラアカデミーの方をお招きし、素敵な演奏を披露していただきました。

平成23年3月10日には、創校120周年記念事業として全校児童が書いた作文や作品、写真等を入れたタイムカプセルをグラウンドの東側の端に埋設しました。タイムカプセルは、30年後の創校150周年を迎える2040年8月15日、午前10時に掘り起こす予定です。

また、当時のPTAが中心となって、創校120周年記念の下敷きを製作し、全校児童に配布しました。



創校
100周年
人文字



！ 創校100周年記念行事

平成2年5月20日(日)に創校100周年記念大運動会が行われました。特別企画としてのくす玉割りに来賓、教職員、児童の各代表が参加しました。また、コスモスの種と子供たちの願いを書いた紙を付けて飛ばされた風船は、遠くは福島県まで飛び、50名にも及ぶ方々から返信が相次ぎました。

このほかに創校100周年行事として、学習発表会、記念式典、文化芸能発表会が行われました。さらに、当時のPTAが中心となって、「全日本文字コンテスト」に出場し、特別賞を受賞しました。



黒松



松の木の
移植作業



赤松



！ 野村小のシンボル「黒松と赤松」

校庭の南側の旧体育館寄りに、2本の見事な松が立っています。校舎から見て左側の黒松は、大正4年11月に御大禮記念樹として職員と児童の手によって植えられたものです。一方、右側の赤松は、元は上野村の八幡社(現在の玉兎ヶ丘の道路の東)に植えられていましたが、明治43年、野村にあった六つの神社が一つに合祀された際、小学校に移されたものです。

2本の松とも、野村小学校へ来てから130年近くになりますが、その間校舎の増築や校庭の拡張のたびに、校庭内を転々と移しかえられ、現在に至っています。

！ 校章の由来

「の」が6つで「のむ」、真ん中にひらがなの「ら」で、「のむら=野村」と読みます。

「ら」の中には、小学校の「小」を山の形で表して立山の下にある三本の波線は、「庄川」を表しています。

立山と庄川は、私たちにふるさとを守ってくれてい校章には、その偉大な自然に対する感謝と尊敬の気

を円の形にデザインした「ら」

あり、この山は「立山」で、

す。偉大な自然であり、この持ちが込められています。

